

再々答弁 (市民生活部長)

将来に大規模改修または建設に直面する。合併の目的である行財政効率化のためにも、早期の一元化を推進しなくてはならないと考えるが、いかがか。

施設の一元化の時期は、

どちらかの施設更新時がチャンスと考え、今後検討させていたたく。



放射能 (線) 対策について

堀越 道男議員

質問

つくば市内のU字溝や雨どいの下、公園の滑り台の下等を調べ、ホットスポットならぬミニスポットを発生見した筑波技術大の准教授がいる。ミニスポット簡易検出法と対処法をウェブに載せて、いろいろと対処しているようである。共産党市議団としても線量計を購入し、民報で貸し出しのお知らせをしたところ、ものすごい反響があった。その結果やはり、雨どいの下とか遊具の下とかいうところが非常に高い線量のところがあった。かの准教授が言うには、屋根や空中に降った放射線が、雨が降るたびに雨どいをとおして下に落

ちる。そして、そこに凝固する。その後、乾燥してさらに雨が降ると、また、そこへ溜まる。非常に容易ならぬ状況である。そこで除染の方法であるが、うまい具合に雨が降って強いところを作ってくれたわけであるから、そこを除染すれば良いんだと。除染のやり方については、市民と行政が一緒になってやりなさいと。ただ、マニュアルは市が作るべきであると思う。又、線量計を貸し出す際にも、マニュアルを、作る必要がある、だと思ふ。除染した泥については、大きなふたがあるようながっちりしたもので水に溶けない、要するに漏れない、下へ流れない

というものを作るべきだといわれている。こういった完全密閉型のものを市民にも広げていく、あるいはそういういったものを作っていくということが今後の除染のあり方ではないかと思う。また、食品の安全基準について、市では、他市に先駆けていくつかやっているが、安全基準が日本の場合、手ぬるいと思う。例えば、水道水では日本は100ベクレル、ベラルーシでは10ベクレルである。大人と比べ、子どもが摂取して良い数字は当然、低いほうが望ましい。国に向けて基準値の見直しを働きかけることが必要と思うが、いかがか。

答弁 (市民生活部長)

線量計については、11月24日から貸し出しを開始し、103人の予約があった。貸し出しの際には、使用説明書や万一、線量が高かった場合の除染の仕方をプリントしたのもあわせてお渡ししている。内部被曝の対応については、給食の食材を、食品放射能測定システムを使用して検査し、放射性物質が検出された場合、食材としての使用を控えることとしている。食品の安全基準については、平成24

再質問

年4月1日から施行される予定の、国が新たに定める規制値にしたがって対応していきたい。

ホットスポットはいたるところにある。せつかく自然が集めてくれたものを、きちんと処理することが重要だ。汚染をはつきりさせる、可視化する、それをどれだけ低くしていくかという努力をしなければならぬ。当然、それに見合った対応を市は率先して取るべ

福雷橋について

篠崎 孝之議員

質問

福雷橋は、3月11日の東日本大震災により通行止めになったが、いまだにそのまま地元の皆様は非常に不便をきたしている。地元五箇地区としては、一日も早い復旧工事を望み、8地区の自治区長名で6月に、市長宛の要望書提出を行ったところである。この橋は、昭和3年頃の供用開始であり、震災前からも相当の傷みはあったが、今まで使えたものが突然使えなくなり、地元住民の生活に支障をきたしている。地元としては、



福雷橋

その他の質問

○東日本大震災の災害援助・住宅支援について

きで、このことを大いに進めていたたくことを要望する。

